

## ●指導のポイント

### 学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた「自分」を育てる児童の育成  
【育てたい資質・能力 ①思考力②表現力③主体性④協調性（協働性）⑤自らへの自信⑥共感力】

### 研究主題

ふるさとの学びを生かし、よりよく生きるための基盤となる  
道徳性を養う児童の育成  
～西城の「ひと」「こと」「もの」を生かした道徳教育の創造～

### 研究仮説

教科や領域・体験活動等と効果的に関連付けた道徳の時間の**指導方法の工夫改善**を行えば、児童の共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育てることができるであろう。

### 指導方法の工夫改善

**問題解決的な学習**を  
取り入れた指導方法の工夫！

#### ◎確かな実態把握と、資料分析を行い、課題意識をもたせることでねらいに迫る授業づくりを行う。

- ・意識調査等による実態把握から、指導者は付けたい力を明確にした上で、児童に課題意識をもたせる導入を行い、問題解決に向けた授業を展開する。
- ・導入でもたせた課題意識を、終末で再度確認する。その際、ねらいとする道徳的価値について、資料から離し、自分の生活につなげて考えさせる。
- ・資料分析を行い、ねらいに迫るための発問や切り返し発問等を想定しておき、問題解決に向けた授業づくりを行う。

#### ◎各領域で培った表現力（書く・話す）を道徳の時間の価値交流の場において生かす。

- ・交流の場において、「考え、議論する」ために、ワークシートに自分の考えを書かせ、交流し、新たな考えを書き込むことで、道徳的価値について児童一人一人が納得解をもつことができるようにする。

#### ◎各教科、領域、総合的な学習の時間等との有機的な関連を図る。

- ・自分事として考えることができるように、各教科等との有機的な関連を図り、道徳的価値について多面的・多角的な考えをもたせて交流することで、問題解決を図る。

#### ◎西城の「ひと」「こと」「もの」を生かした体験活動等を通して道徳性を養う。

- ・学校の教育活動全体において、西城の「ひと」「こと」「もの」を生かした体験を積み重ね、道徳の時間における指導と豊かな体験を通じた道徳的実践の指導との有機的な関連を図り、児童一人一人の道徳性を高めていく。